

第107回 全国高校野球 青森大会

第9日

光星5回コールド

「初回から理想通りの打撃」

・八学光星の1年生二塁手
・押田小虎が気を吐いた。

【評】八学光星が序盤から青森北を突き放し、五回コールドで快勝した。初回、久保の右前適時打で先制。その後はミスに乗じて押田小、光田が適時打を放つなど打者一巡でこの回一挙7点を挙げた。二回に2点を追加し迎えた四回には、押田小の右前適時打などで2点を奪い、試合を決めた。投げてはエース佐藤、柴田の継投で相手打線を封じた。



【青森北・八学光星】1回裏、八学光星2死一、二塁、押田小の右前安打が失策を誘い—0

1年・押田小 2安打2打点

チームは初戦の2回戦から4試合連続でコールド勝ちを収めるなど上り調子。2年ぶり、そして自身初となる甲子園出場に向け「大事な決勝戦はつなぐバットインクを意識し、守備でもピンチを救いたい」と意気込みを語った。（棟方好華）

たとい「気合を入れてプレーできた」と笑顔を見せた。



4回裏、八学光星1死満塁、押田小が右前適時打を放ち10—1